

説教

イースター礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2019年4月21日（日）

主 題：「復活の主はあなたに希望を与えます」

—3%アップの信仰—

テキスト：1コリント人への手紙15章3-10節

はじめに

・イースター、おめでとう！

私たちは、イエス・キリストが復活された「よみがえりの日」を記念し、神に心から感謝し、この日をお祝したいと思います。全世界で、時を同じくして、イエス・キリストの復活が記念されています。このお方こそ、死に勝利され、復活されたお方です。ですから、イエス・キリストは人類の救い主（メシア）です。

・さて、人間の心の中にはさまざまな「願い」があります。

多くの方々は、自分を変えたい、変えられたいと「願い」ます。しかし、自分を変えることは容易ではありませんね。もし自力で変えられるならば、人は悩むことはないでしょう。

・ところで日本では、5年前に消費税が3%アップしました。そして今年の10月には、さらに2%アップする予定です。日本政府は、国民の将来のために必要と言っています。そこで私は、「3%アップの信仰」を提案したく思います。物価上昇は自然の流れかもしれませんが、神を信頼する信仰はいかがでしょうか。信仰生活で昔と今、別に変化はないという方もいます。しかし、信仰は停滞するのではなく、前に進み成長するものです。

{現状維持は、後退を意味します。}

・皆さん。今日、2019年のイースターから「3%アップの信仰」という願いを持ちませんか。信仰がアップするとは、どういうことでしょうか。

⇒ あなたが、信仰によって豊かになることです（祝福）。

自分よりも信仰があると思われる人、自分よりも人格面で優れていると思われる人、自分よりも尊敬に値すると思われる人……。そのような器にパワーアップされることです。それは、あなたが更に「幸いな人」へ変えられることになります。パウロは次のように言いました。1コリント人への手紙

15:10 **ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。**

・皆さん。パウロは変えられました。そして、「私は今の私になりました。」と

言いました。しかも実現させたのは、「神の恵み」であると語りました。いったい彼は、どのように変えられたのでしょうか。その秘訣は、今日のテキストに秘められています。イエス・キリストの「復活の章」と呼ばれる第一コリント人への手紙15章から、私たちは2点学びたいと思います。

大切なポイント

1. キリスト・イエスに出会う前のパウロ (Before)

使徒の働き

- 9:1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、
- 9:2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。
- 9:3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。
- 9:4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。
- 9:5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。
- ・ 迫害者パウロはイエスに出会い、生活が大変化しました。それは復活されたイエスに出会ったことが始まりでした。 **1 コリント人への手紙 15 章**
- 15:9 私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。
- 彼は神の前で正直でした。すべてを見ておられる神の前に立ったからです。
- ・ これが、パウロのクリスチャンになる以前の姿でした。
- しかし、パウロは復活されたイエス・キリストにお出会いし、大きく変えられました。イエスの復活は、彼の人生を大きく変えてしまいました。では、いったいどのように変えられたのでしょうか。

2. キリスト・イエスに出会った後のパウロ (After)

1) 復活の事実と証人

- 15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、
- 15:4 また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、
- ・ パウロはここで、三つの事実を語りました
- ① イエスは私たちの罪のために死なれた
 - ② イエスは埋葬された
 - ③ イエスは三日目に復活された
- この箇所は、パウロの信仰告白の核心（中枢）と言われています。
- ・ 更にパウロは次のように言いました。
- 15:5 また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われたことです。
- 15:6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。
- 15:7 その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現われました。

・パウロはこの事実を証明するために、5つ証人グループをあげました。

- ① ケパ（ペテロのヘブル名）
- ② 12弟子
- ③ 500人以上の兄弟たち
- ④ ヤコブ
- ⑤ すべての使徒たち

◎ 大切なこと

- ・皆さん。このように聖書を読んでいますと、大切なことはイエス・キリストの教えや、イエスの不思議や奇跡の数々ではないことが分かります。イエス・キリストの十字架の死と、埋葬、復活を、見た人々がいるという事実でした。それがグッド・ニュース（福音）です。
- ・初代教会時代のクリスチャンたちのメッセージの中心は、
⇒イエス・キリストの復活にありました。
パウロは、かつて教会を激しく迫害した人でした。しかし、その彼が突然、伝道者になりました。敵対者が味方になりました。彼の大きな変化を説明できる理由は、何でしょうか……？ 　ただ一点、
⇒復活のキリストに出会った、という事実です。
- ・キリストの復活は、それまで信じていなかったイエスの兄弟ヤコブや、他の人々をも回心させた出来事でした。そればかりか、パウロは復活の目撃者はまだ存命中であるとしました。
{1コリント15章は、キリストの死後約25年ほどして書かれたと言われます。したがって、まだ生き証人がいました。}
- ・パウロはさらに言いました。

2) パウロ正直な告白

15:8 **そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現われてくださいました。**

- ・「月足らずで生まれた者」(Ektroma エクトロマ: 翻訳の適語が日本語にない) 私たちは、この言葉からどんなイメージを持つでしょうか……。
この言葉は、早産で生まれた未熟児を指していません。そうではなくて、生まれる前から、「胎児の時から五体が不具、奇形、不完全な嬰兒」を意味します。つまり。ヘブル的視点では、このような嬰兒は靈的に死んだと等しい状態です。
- ・ですから、まったく値のない嬰兒で、無価値に等しい者であるということです。彼はユダヤ神学を、当時の権威ある学者ガマリエル師の下で、教えを受けた超エリートの人でした。その彼が、自分は「月足らずで生まれた者」と言いました。
- ・パウロは「自分は月足らずで生まれた者」、ひそかにおろされる流産の子に等しい子、光を見ることなかった嬰兒であると言いました。彼は復活のイエスに出会った時、強い光に照らされ、自分がどんなに値のない者であるかを認識しました。

- ・パウロは、ギリシャのコリントの聖徒たちへこの書簡を書きました。コリントの人々は、物質的には十分恵まれ豊かでした。そこは日本のバブル経済絶頂期のように、高慢な思いに包まれていました。彼らの多くは、丸で自分たちが王様のような気分で生活していました。そこで復活のイエスに出会った彼は、自分がどんな存在であるかを説きました。

15:9 私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。

- ① 使徒の中では最も小さい者、②使徒と呼ばれる価値のない者、その理由は、③私は神の教会を迫害したからである、と言いました。

- ・彼は、クリスチャンたちを捕らえ迫害しました。殉教者ステパノが殺害された現場にもいました。そればかりか、彼はステパノ殺害に加担して いました。彼はそういう事実を認めながら、次のように言いました。

15:10 「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

- ・神の恵みが、パウロを大きく変えたのでした。同じように私たちも、イエス・キリストを信じるならば、つまりイエスは復活されたと信じるならば、変えられます。
- ・では、どうすれば変えられるのでしょうか。⇒ それは、神の前で自分の姿を正直に認めることです。創造神の前で、自分はどんな歩みをしてきたのでしょうか。思いの中で、行為の中で、日々の歩みの中で、神の前に立っているのでしょうか。パウロは、復活の主の光に照らされ、自分の存在がはっきりと分かりました。⇒ 自分は罪ある存在である
- ・イエス・キリストの十字架の御死と復活は、罪ある私たちを救うためでした。イエスは私たちのすべての罪の負債を、その身に負ってくださいました。私たちは、ただそのお方を信じるだけでよいのです。これがイエス・キリストの福音です。信じるだけで、救われます。なんといいう幸いではありませんか。
- ・それでは、どのように変えられるのでしょうか。私は変えられる人の姿を、次の3点にみることができます。

3) 祝福の人生のはじまり

① 静思(黙想、祈り)の時が喜びと平安に変えられます

賛美、感謝、悔い改め、とりなしの時間が、喜びとなります。心に平安が与えられます。神に近づく時です。神の富と豊かさにふれる時です。心落ち着く平安の時が与えられます。

② みことばが喜びと平安に変えられます

聖書のみことばは、生きて働く神の剣です。今日も、励まし、勇気を与えます。今日も、生きる力を与えてくださいます。そして誤りの道に行くことがないように、正しい道を示してくれます。

③ 主への従順が喜びと平安に変えられます

神の恵みにあずかった人の生活には、従順な歩みがみられます。

それは、苦痛でも負担でもありません。むしろ喜びであり、感謝であります。

パウロは言いました。

15:10 「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

- ・パウロは、他のペテロやヨハネより多く働いたと言いました。しかし、パウロはそれを誇るのではなく、「それは全て神の恵みです。」と言いました。ですから、全ての栄光を神にお返しするのです。
- ・「恵み」とは、それを受けるに価しない者に、一方的に与えられるものです。ふさわしいから与えられるものは、「恵み」ではありません。それは「報酬」です。しかし、自分には受ける理由はどこにも無いけれども、与えられるのが「恵み」です。
- ・今までのパウロは、クリスチャンを捕らえて迫害してきました。一撃のもとに神に打たれて死んでも、文句も言えないような者でした。神は、そんな者を変えてくださったのでした。
⇒それは、神の「恵み」以外の何ものでもありません。
- ・神は恵みに富む豊かなお方です。 **出エジプト記**
34:6 主は彼の前を通り過ぎるとき、宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、
34:7 恵みを千代も保ち、咎とそむきと罪を赦す者、罰すべき者は必ず罰して報いる者。

- ・愛する皆さん。神は恵みに富むお方です。聖書全体には、一つのメッセージ（グッド・ニュース）が流れています。
⇒ 神は、恵みを千代まで与える富むお方です。
私たちは、この聖書の神を本当に信じているのでしょうか。天父神に対し、私たちはどのようなイメージを持っているのでしょうか。
- ・ある時、イエスはたとえ話を語られました。

マタイ 25章 14-29節

25:20 すると、五タラント預かった者が来て、もう五タラント差し出して言った。『ご主人さま。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください。私はさらに五タラントもうけました。』

25:24 ところが、一タラント預かっていた者も来て、言った。『ご主人さま。あなたは、蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めるひどい方だとわかっていました。』

25:25 私はこわくなり、出て行って、あなたの一タラントを地の中 に隠してお

きました。

- ・5タラントを預かったしもべ、1タラントを預かったしもべ、二人は主人に対してのイメージが違っていました。なぜでしょうか？

あなたの心の内にある「思い」が、「思考」を生み、「行動」を生むのです。パウロはイエスの復活を信じることによって、天父神の愛を経験しました。そして人生が大きく変えられる経験をしました。

その彼が語った言葉は；

15:10 ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。

- ・いかがでしょうか。パウロに現れてくださったイエスは、私の人生にも現れてくださいます。そして、天の御国に向かい、生きる希望を与えてくださいます。いかがでしょうか……。
- ・私たちは今年のイースターを機に、「3%アップの信仰」を願おうではありませんか。3%アップ⇒①静思 ②みことば ③主への従順
- ・イエス・キリストを信じる人は幸いです。なぜなら、キリスト・イエスが復活されたように、朽ちない姿に変えられるからです。

1 コリント 15 人への手紙

15:51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみなが眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。

15:52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

- ・イエス・キリストを信じる者には、「朽ちないものによみがえる」という希望があります。これこそキリスト者の特権です。

ま と め

主 題：「復活の主はあなたに希望を与えます」

—3%アップの信仰—

- ・私たちは今日、イエス・キリストの復活を記念しています。
イエスの復活を信じたパウロは、人が大きく変えられました。まるで別人のように、変えられました。私たちもイエスの復活を信じるならば、変えられます。なぜなら、パウロの神と私たちの神とは、同じ神であるからです。そして、神の豊かな祝福に与り、内なる人の信仰がパワーアップされるのです。
 - ・神に近づくことが許され、千代に至る神の祝福にあずかる人とされます。それは信仰の成長です。パウロは、それは「神の恵みです。」と言いました。私たちもパウロのように、「神の恵み」に預かる者となろうではありませんか。
 - ・1 コリント人への手紙
- 15:10** 「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に 対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも

多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

* God bless you!